

報道関係各位
プレスリリース計3枚

2020年12月10日
公益財団法人 大阪国際がん治療財団

重粒子線がん治療施設「大阪重粒子線センター」を運営する（公財）大阪国際がん治療財団は
2020年12月14日（月） ソウル大学病院（Seoul National University Hospital）と
MOUを締結いたします。

重粒子線がん治療施設「大阪重粒子線センター」を運営する公益財団法人 大阪国際がん治療財団（大阪
市：理事長 高杉 豊）は、2020年12月14日（月）午前11時より大韓民国（以下、韓国）のソウル
大学病院（Seoul National University Hospital：以下、SNUH）と重粒子線がん治療等に関わる包括
的なMOU（Memorandum of Understanding／覚書）を締結いたします。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン会議システムを利用したWebでの締結式を行います。

SNUHは、韓国の国立のトップ大学であるソウル国立大学の附属病院で、1978年に設立されました。韓国内
でも有数の規模を誇る総合病院で、今日まで最先端の医療技術を取り入れ続けています。ソウル大学病院は、1
日10,000人を超える外来患者、その中でも放射線腫瘍科は300人以上の患者を治療しています。今回、重
粒子線がん治療施設 SGCC-HITS（SNUH Gijang Cancer Center for Heavy Ion Therapy and
Study）の建設予定地は韓国・釜山市で、東芝エネルギーシステムズ株式会社製の重粒子線がん治療装置を
導入し、2024年の竣工を予定しています。（東芝エネルギーシステムズ株式会社プレスリリース&ニュースより一部引用転載）

重粒子線がん治療は、世界の中で最も日本が進んでおり、大阪重粒子線センターは国内で6番目にできた施
設です。2018年3月1日から外来診療を、同年10月16日から重粒子線がん治療を開始し、2020年11
月30日までの治療患者数は累計1,020名で、前立腺がん775名、頭頸部がん63名、骨軟部腫瘍19名、
肺がん37名、肝臓がん53名、すい臓がん21名、その他52名となっています。

近年がんの重粒子線治療が世界的な趨勢となる中で、大阪重粒子線センターは、国内外から注目されており、
2017年6月7日のMayo Clinic（アメリカ・ミネソタ州）はじめ、台湾、中国、韓国、シンガポールなど、海外か
ら数多くの医療関係者や行政機関の視察を受け入れてきました。既にSNUHの前にも臺北榮民總醫院（台
湾）とMOUを締結し、現在、臺北榮民總醫院の医療スタッフ（医学物理士1名・放射線技師2名）が大阪
重粒子線センター施設内での研修を行っています。

SNUHとMOUを締結し、医療スタッフの研修及び研究等を通じて人事交流等を行い、最先端のがん治療の
普及に協力し、国内外における質の高いがん治療の実現に貢献していきます。



▲セレモニーのパナー

■ 大阪重粒子線センターの概要

2015年8月に建設工事着工、2016年10月に施設を運営する主体として一般財団法人大阪国際がん治療財団設立（後に公益財団法人に移行）、2017年10月に建物竣工、2018年3月1日から外来診療開始、同年10月16日から重粒子線がん治療を開始。

住所：大阪市中央区大手前3-1-10 階層：地上3階建て 高さ：21.6m 重粒子線治療室：3室
<https://www.osaka-himak.or.jp/>



【外観】

【治療室 1】

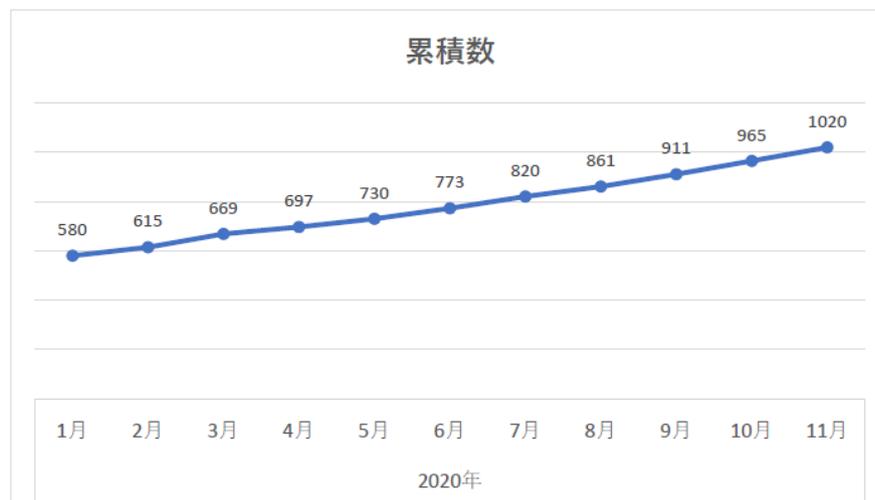
【重粒子線加速器】

■ 大阪重粒子線センターの治療実績（治療開始：2018年10月16日～）

累積数



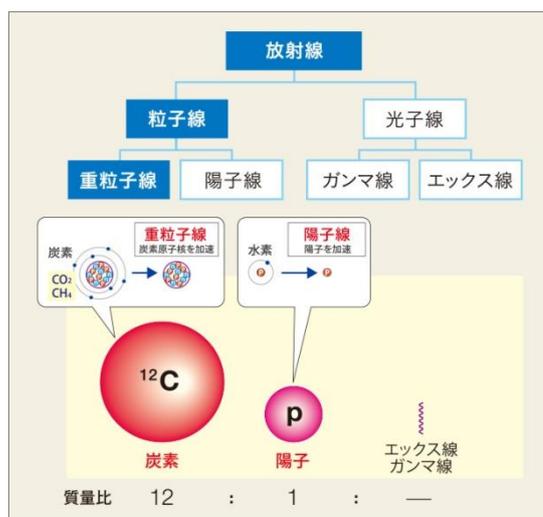
累積数



■ 粒子線がん治療について

粒子線がん治療は放射線治療の一つで、水素の原子核を加速したものを陽子線、炭素イオンを加速したものを重粒子線といいます。体内に入射した重粒子線は、ある深さまではあまりエネルギーを与えずに、ピークになるところでがん病巣の位置に合わせることができ、その後は体内で停止します。重粒子線はX線や陽子線に比べて生物学的効果(がんを殺す効果)が高い特徴があります。

重粒子線がん治療は、切らずに、痛みもなく、高齢者にもやさしい治療で、限局性の固形のがん治療に適しています。治療回数・日数が少なく、仕事や日常生活を続けながら外来での治療も可能です。



■ ソウル大学病院 (SNUH) と MOU の概要

日 時 : 2020年12月14日 午前11時 (日本時間)

場 所 : 大阪重粒子線センター・ソウル大学病院

備 考 : 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン会議システムを利用した Web での締結式

出席者 : ソウル大学病院 病院長 Kim, Yon Su

SNUH Gijang Cancer Center for Heavy Ion Therapy and Study

センター長 Wu, Hong Gyun

ソウル大学病院 放射線腫瘍科 科長 Shin, Kyung Hwan

公益財団法人大阪国際がん治療財団 理事長 高杉 豊

公益財団法人大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター センター長 茶谷 正史

公益財団法人大阪国際がん治療財団 大阪重粒子線センター 副センター長 金井 達明

公益財団法人大阪国際がん治療財団 常務理事 檀 誠

■ 本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 大阪国際がん治療財団 〒540-0008 大阪府中央区大手前 3-1-10

担当 : 檀 誠・八木 智司・西雄 みどり TEL : 06-6947-3210 FAX : 06-6947-3211

檀 : Mail: m.dan@osaka-himak.or.jp 八木 : Mail: s.yagi@osaka-himak.or.jp

西雄 : Mail: m.nishio@osaka-himak.or.jp